

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第4回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成26年2月24日(月) 午前10時00分～午前12時00分
開 催 場 所	中部地区会館401大集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々委員(会長)、布田委員(副会長)、志茂委員、乙幡委員、小幡委員、増田委員、篠崎委員、齊藤委員、安彦委員 欠席者：大友委員、田江委員、染谷委員 事務局：小峯健康福祉部長、高野子育て支援課長、古川保育グループ主査、佐藤保育グループ嘱託員
議 題	議題 (1) アンケート結果について(就学前児童) (2) 人口推計について (3) サービス需要量の見込みについて
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題(1)について 次回会議において就学児調査の結果報告と、調査結果報告書の原案を示す。 議題(2)について 「コーホート変化率法」を用いて人口推計値を算出する。 議題(3)について 都からの要請に基づいて調査結果から導き出されたニーズ量を実績値と整合性がとれるよう、補正を加える。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 開会 ○佐々会長よりあいさつ (佐々会長) アンケート調査などから見えてきたことを踏まえ、来年度からは会議の回数を重ねて、計画内容を積み上げて、まとめることを期待されていますので、各委員は大変ですが、お知恵を拝借してまとめていきたいと思っています。本市の特徴が次から次へと出てきて、それをどう考えていけばいいのかについて、事務局が提示する内容から、各委員が求められている意見を出していただきたく、よろしくお願ひします。 2 報告 (1) 第3回子ども・子育て会議の会議録について ○事務局より、第3回子ども・子育て会議の会議録について説明が行われた。※資料1 (事務局) 修正等があれば1週間以内に事務局へ連絡頂きたい。 (2) 子ども関連福祉サービス事業(その2)について ○事務局より、子ども関連福祉サービス事業(その2)について説明が行われた。※資料2、資料2の2、資料3 (事務局) 子育て支援課で行っている、子育て支援サービスの一部を資料として用意した。これらの事業の中に、今後、支援事業計画で取り組むべき事業がある。 【質疑応答】 (佐々会長) 乳児家庭全戸訪問事業について、“全戸訪問”の対象

者が平成24年度で514人いるのに対し、実際の訪問数は443人となっている。平成22・23年度についても、対象者に比べ訪問数が少ない。訪問を受けていない人がいるが、この理由は何か。

(事務局) 生後4ヶ月までの乳児が対象だが、乳児の保護者が実家等に帰っていて不在にしている場合がある。また、事前に連絡を入れて訪問するようにしているが、拒否をされて会えないこともある。市議会でも、行方がわからない乳児の問題について質問が出ている。訪問事業は健康推進課の方で行っているが、全戸に訪問するというスタンスではいる。

(佐々会長) 放課後子ども教室を市内の小学校9校のうち6校しか実施していないが、3校が実施していない理由は何か。

(事務局) 所管の教育委員会に照会したところ、空き教室が十分に確保できないことが主な理由のひとつである。第十小学校は特に児童の数が増え、普通の教室も足りない状況にある。今後支援事業計画を策定していく中で、できるだけ開設していく方向で努力したい。

(佐々会長) 母子自立支援・婦人相談員の事業の相談件数が、年間3,100件を超えているが、かなり多いのではないか。

(事務局) 母子自立支援・婦人相談員の事業は二人体制で行っているが、相談件数が非常に多い状況にある。毎日電話も含めて、10件から20件の相談を受けている。新規相談数も平成24年度で1,504件あったが、これらの相談についても、1回で相談が終わるものではなく、継続して相談を実施している。

(佐々会長) 資料2の5ページに平成24年度の新規相談内訳が載っているが、家庭の負の部分がうかがえる。子ども家庭支援センターでの相談と関係してくると思うが、子ども家庭支援センターにおける相談内容との内訳や、連携した活動内容などの情報があれば提示して頂きたい。

(委員) 資料2の9ページ妊婦健康診査事業の事業実績で、平成20年度は国庫支出金・都支出金などの補助金が出ていない。P10の乳児家庭全戸訪問事業では、平成20年度は国庫・都支出金ともに、平成21年度は都支出金が出ていない。こういった補助金の関係はどうなっているのか。

(事務局) 健康推進課に確認した上で、次回報告したい。

(委員) 資料を出す以上は根拠を説明できるようにして貰いたい。今後資料をよく精査した上で出して頂きたい。市の全体の予算のうち、福祉に関する予算はだいたい何%くらいか、また子育てに費やす予算の割合はどのくらいかを示して貰うと、わかりやすい。

(事務局) これから市議会で審議する平成26年度予算において、子育て関連の割合や補助金についての資料を提示できるよう工夫したい。

(委員) 乳児全戸訪問事業に関して、私の場合なかなか市の方が来ず、子どもが1歳を過ぎてから来た。そういった見落としがある場合もあるので、保護者への連絡を確認して欲しい。

(事務局) 原則として生後4ヶ月以内に訪問することになっているので、原則に則ることができるよう努力したい。

(委員) 児童館で母親を対象に独自にアンケートを取ったところ、児童館に鍵が掛かっている時間帯があるという回答が何件もあった。相談したいときに12時から13時までの間で閉まっているという状態があった。また、乳児を対象とした遊び場がなく、子どもの健全育成をうたっているのに授乳室がない、床がフローリングではないなど、赤ちゃんを連れていけないという現状がある。

(事務局) 職員のシフトの見直しなどを検討する。

(佐々会長) 個のレベルからの要望と、ニーズ調査から見る全体の施策を見渡して、手順を踏んで施策を実行していくことが大切だ。

(委員) 放課後子ども教室の定員というものはあるのか。

(事務局) 放課後子ども教室について定員はない。1年生から6年生まで、申し込みがあった全員が入れることになっている。サポーターにしても7人から8人が付くことが決まっているので、だいたい20人から30人くらい受け入れられる。放課後子ども教室は学校がある日で、給食がある時のみ実施されているので、夏や冬など長期休みの時には利用できない。ただ、空き教室の具合によっては受け入れが難しいという場合もある。

(佐々会長) 受け入れができなかった場合や、都合が付かなかった場合の子どもの居場所をどう考えるかの、全体的な施策が必要になる。子育て世代の親にとって、どの施設がどう利用できるかが見えにくいのではないか。そういった広報や周知については、どこが担うのか。

(事務局) 子育て支援に関するわかりやすい情報誌を検討したい。子育てに関する冊子を改める時は、子ども家庭支援センターなどと協力して、母親の意見を取り入れ、作成したい。

(委員) なにが足りないのかがわかれば対応しやすいので、問題点をまとめて頂きたい。

(佐々会長) 市内の施設でどういったことができるのかなど、分断的に記述されているので、わかりやすく参照できるような書き方を工夫して欲しい。

3 議題

(1) アンケート結果について（就学前児童）

○事務局より、就学前児童アンケート結果について説明が行われた。

※資料4

【質疑応答】

(佐々会長) 就学児の報告がないのは、作業が遅れているからか。

(事務局) 就学前の調査結果について東京都に報告する数字等があったため、就学前の数値から先に出した。就学児の方の確認作業がまだ済んでいないため、今回は報告できなかった。

(佐々会長) 就学児の報告はいつ出せるのか。

(事務局) 次回の会議には間に合わせる。

(佐々会長) この報告資料を精査して、各委員には次回会議で意見を出して頂きたい。

(2) 人口推計について

- 事務局より、人口推計の方法の選択について説明が行われた。
※資料5、資料6

(事務局) 人口推計の方法について、「コーホート要因法」と「コーホート変化率法」があるが、計算年度が新しいことにより推計値が実績値の伸びとあっていることから、「コーホート変化率法」を用いたいが、委員の意見を伺いたい。

【質疑応答】

(佐々会長) 人口推計方法のそれぞれのメリット・デメリットはなにか。

(事務局) 「コーホート要因法」のメリットは市の長期総合計画との人口推計と整合性が図れること、開発要因が推計等に含まれていることである。デメリットは数値が実績値と乖離していること、推計年度が平成22年度と古いことである。「コーホート変化率法」のメリットは、今までの次世代育成行動計画と整合性が図れること、新しいデータで推計ができることである。デメリットは、長期総合計画との整合性が図れないこと、開発要因等を数値に反映できないことである。

(佐々会長) 「コーホート変化率法」のデメリットを少なくする方向で推計を進められるならば、「コーホート変化率法」でいいのではないか。

(3) サービス需要量の見込みについて

- 事務局より、サービス需要量の見込みについて説明が行われた。
※資料7、資料8、追加資料1、追加資料2

(事務局) 本市ではニーズ量が低く現れる傾向にあり、待機児童ゼロを目指すには、人口推計値、ニーズ量ともに補正する必要がある。数値を補正することについて、委員の意見を伺いたい。

【質疑応答】

(佐々会長) 他の市区町村とデータの出方が違っているということだが、説明して貰いたい。

(事務局) 他の東京都の市区町村と比べて、保育利用希望率が低く出ている。都からももう一度分析して欲しいという要望が出ている。低く出ている原因を具体的に次回会議において検討したい。

(委員) ニーズ量の推計について、推計方法が決まっていないのに、資料7などですでに数値が出ているのはなぜか。

(事務局) 当初は両方の方法で数値を出すことを検討したが、「コーホート要因法」を用いた数値があまりに実績値とかけ離れていたため、資料では「コーホート変化率法」を用いた推計値を記載した。

(佐々会長) 資料6において二つの方法での人口推計値比較が記載されている。東京都としては待機児童が増えている中で、保育利用希望が少ないのではないかと考えている。ニーズ量が正しく捉えられていないと、希望者が施設を利用できず、待機児童が減らないということになりかねない。アンケート結果をもう一度検討して、これが妥当なものかどうか読み込む必要がある。

(事務局) 低く出ている数値の使用については、都などとの調整の上、補正して需要量を決めたい。

(佐々会長) アンケートに回答した人達のニーズを、市全体でのニーズや出生率などを勘案して、住んでいる市民のニーズをしっかりと捉えて頂きたい。

(事務局) 実績と比べて需要が低く出ている要因を探り、補正を加えて、実績と需要のバランスを取っていききたい。

(委員) 待機児童の算出方法が自治体によってバラバラで問題になっているが、武蔵村山市はどうなのか。また、平成26年度予算において、待機児童を減らすための特別な予算を組んでいるのか。

(事務局) 平成26年度の新規事業で大きなものはない。認可外保育施設を利用している家庭に補助金を給付する制度を始める予定である。予算自体は例年どおり確保しており、減額はされていない。

4 その他

○事務局より、次回会議の開催日程について説明が行われた。

(事務局) 次回開催は、平成26年4月14日(月)午前10時からを予定している。3月末に武蔵村山市保育料検討協議会を立ち上げる。武蔵村山市の認可保育所の保育料を検討し、その内容を市議会に上程して決定する。4月以降には国から利用者負担基準表が示される予定になっており、それから本格的に検討に入り、7月には報告書を出して頂き、9月の市議会に保育料を上程し議決を頂き、6ヶ月の周知期間を置いて、平成27年4月から新制度とともにスタートしたい。保育料検討協議会の経過については、子ども・子育て会議に随時報告していく。

	<p>(佐々会長) よりよい町で子育てをする上で、この町で子育てをしたいと思われるような制度にしていくため、意見を出して行って欲しい。</p> <p>5 閉会</p>
--	---

配布資料	<p>○第3回子ども・子育て会議の会議録・・・・・・・・・・資料1</p> <p>○子ども関連福祉サービス事業(その2)・・・・・・・・・・資料2</p> <p>○児童館事業・・・・・・・・・・資料2の2</p> <p>○学童クラブ配置図・・・・・・・・・・資料3</p> <p>○調査の概要・・・・・・・・・・資料4</p> <p>○人口推計について・・・・・・・・・・資料5</p> <p>○人口推計について(表グラフ)・・・・・・・・・・資料6</p> <p>○ニーズ量の推計について(表グラフ)・・・・・・・・・・資料7</p> <p>○待機児童数の推移について(表グラフ)・・・・・・・・・・資料8</p> <p>○保育利用率の推計について(表グラフ)・・・・・・・・・・追加資料1</p> <p>○待機児童数の推移について(表グラフ)・・・・・・・・・・追加資料2</p>
------	--

会議の公開・非公開の別	<p><input type="checkbox"/>公開 傍聴者： 0 人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
--------------	--

庶務担当課	健康福祉部 子育て支援課 (内線：182)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)